

■欧州：EU加盟国は2012年までに白熱電球を段階的に廃止

欧州委員会は、2008年12月8日、EUのエコデザイン規制委員会（法的実施措置を検討する委員会）の検討結果に基づき、EU加盟国において2009年から2012年までに白熱電球を段階的に廃止（販売禁止）する方針を示した。今後、この結果に基づき、欧州委員会は欧州議会の意見を待たうえて、2009年3月にこの規制を正式に決定する予定である。欧州委員会の発表によれば、EU域内の白熱電球が全て高効率の蛍光灯に換わることで、年間400億kWhの削減（1,100万軒の家庭の年間電力消費量に相当）を見込んでおり、年間1,500万tのCO₂削減になるとしている。これについて、欧州委員会のピエバルグス・エネルギー担当委員は、「この先駆的な規制は、EUの省エネと気候変動対策目標の達成に向けた明確なメッセージである。前世紀の白熱電球を高効率な蛍光灯に置き換えるだけで、欧州の家庭はこれまでと変わらない品質の灯りのままで、エネルギーとCO₂、そしてお金を節約することができる」と高効率の蛍光灯に換えることのメリットを強調した。